

県内牧場
レポート



木から作る餌で 牛を元気に

安心・安全の国産飼料
消化が緩やかで高エネルギー
元気森森®



飼料に関する青木さんのポリシーは何よりも「牛の健康に良いこと」。牛が食べた餌の栄養分を分解し、エネルギーに変換する上で、ルーメン（牛の第一胃）内の微生物が重要な役割を果たす。

牛の健康を最優先

幼いころから漠然と「牧場を継ぐだろう」と思っていたという青木さん。工業高校を卒業後、自動車関係の会社員を経て28歳で家業を継いだ。昭和40年代の初めに祖父の良一さんが現在地を開拓して設立した青木牧場の3代目だ。

現在、青木牧場は175頭の黒毛和牛を肥育。酪農からスタートし、その後F1（交雑種）、この10年で育てる牛の品種も黒毛和牛と移り変わっている。

飼料に関する青木さんのポリシーは何よりも「牛の健康に良いこと」。牛が食べた餌の栄養分を分解し、エネルギーに変換する上で、ルーメン（牛の第一胃）内の微生物が重要な役割を果たす。

飼料に関する青木さんのポリシーは何よりも「牛の健康に良いこと」。牛が食べた餌の栄養分を分解し、エネルギーに変換する上で、ルーメン（牛の第一胃）内の微生物が重要な役割を果たす。

飼料に関する青木さんのポリシーは何よりも「牛の健康に良いこと」。牛が食べた餌の栄養分を分解し、エネルギーに変換する上で、ルーメン（牛の第一胃）内の微生物が重要な役割を果たす。

木から作った餌を食べて牧場の牛が元気に育つなんて、にわかには信じられないのではないかな。そんな驚きの飼料で効果を感じているのが、深谷市の青木牧場だ。同牧場が使っている日本製紙の「元気森森®」は木材が原料。濃厚飼料並みのエネルギーを持つことに加え、繊維質もたっぷりという粗飼料のメリットも併せ持つ。原料になる木材は国内調達のため安定供給が可能。青木牧場の代表取締役、青木崇通さん(49)は「元気で健康な牛を育てるのに『元気森森®』は強い味方になる」と話す。



元気森森®を配合した飼料を食べている子牛



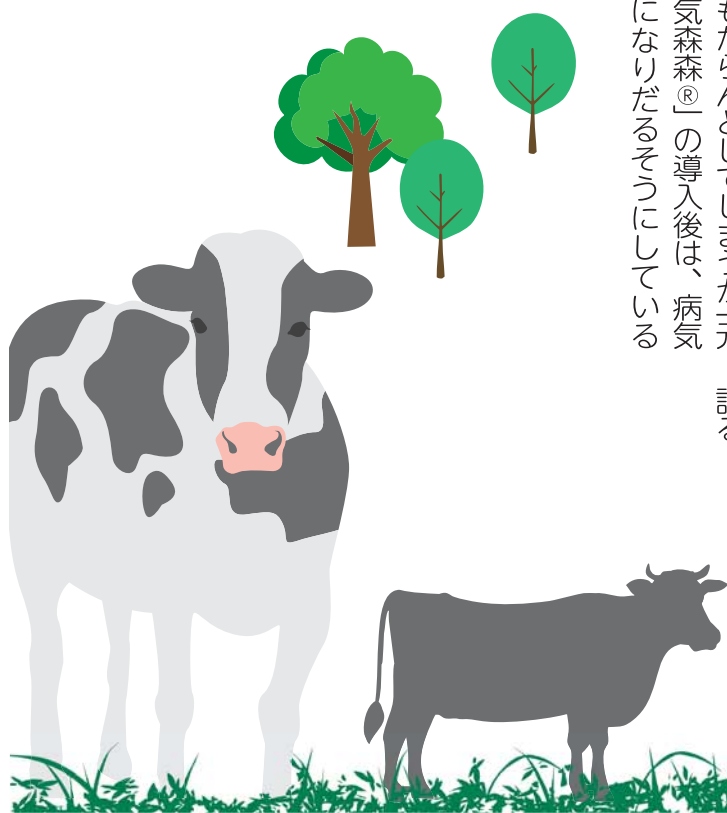
牛舎の様子

下痢の症状が改善

ス比率が高く、ほぼ100%消化されるのも魅力だった。

養牛用飼料「元気森森®」を開発したのは日本製紙株式会社。原料の木材は国内で調達し国内工場で製造する。

青木さんは「牛の健康を最優先」というポリシーを掲げ、牛の健康に良い飼料を求めた。その結果、牛の健康が向上し、下痢の症状が改善された。



青木牧場は生後4カ月の雄の子牛を購入しているが、子牛は環境が変わるとしばしば軟便になる。また太らせるためミルクだけで育てられた子牛が牧場に来て牧草を多く食べると、消化不良で下痢を起こすこともしばしばだ。

青木さんは「牛の健康を最優先」というポリシーを掲げ、牛の健康に良い飼料を求めた。その結果、牛の健康が向上し、下痢の症状が改善された。

青木さんは「牛の健康を最優先」というポリシーを掲げ、牛の健康に良い飼料を求めた。その結果、牛の健康が向上し、下痢の症状が改善された。

青木さんは「牛の健康を最優先」というポリシーを掲げ、牛の健康に良い飼料を求めた。その結果、牛の健康が向上し、下痢の症状が改善された。



元気森森®

もって国産飼料を

牛も減った。青木さんは「ルーメン環境が良くなり、栄養もしっかり吸収して免疫力が上がってきたのでは」とみている。

牛も減った。青木さんは「ルーメン環境が良くなり、栄養もしっかり吸収して免疫力が上がってきたのでは」とみている。

牛も減った。青木さんは「ルーメン環境が良くなり、栄養もしっかり吸収して免疫力が上がってきたのでは」とみている。

木から生まれた牛のエサ



【ユーザーさま*からご評価をいただいています】
*酪農家様、繁殖農家様、肥育農家様、TMRセンター様

消化率向上

枝肉重量増量

繁殖成績改善

子牛の健康維持

使って
実感!

サンプル・資料請求の
お問い合わせはコチラ

TEL.03-6665-1020

FAX.03-6665-0337

エサの枝肉重量 消化率 向上で、アップを目指す

人にも牛にも
環境にもやさしく
外的要因に
左右されにくい

国内製で安定供給

- ◎原料が国内調達した木材
- ◎国内工場で製造している生産物

センイで消化が緩やかな高エネルギー源

- ◎良好なルーメン環境維持
- ◎高エネルギー摂取
- ◎健康維持及び体力維持
- ◎成分中のセンイ(セルロース)比率が高い
- ◎粗繊維の消化率97% 乾物中のTDN95.6%
- ◎ルーメン内の消化スピードは緩やか

実際の
導入事例は
コチラ!



お問い合わせは
コチラ!



日本製紙株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6(御茶ノ水ソランティ) バイオマスマテリアル販売推進部